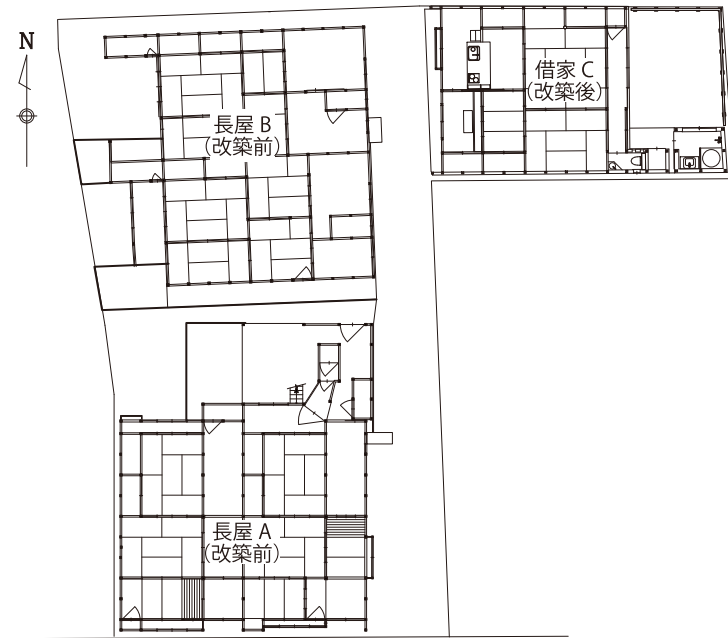


# 紀寺借家

古い家並みが奈良の町の風情を醸し出しています。  
しかし、借家や長屋には今はもう住む人も少なく、取り残されているかのようです。借家であるためにかえりみられず、このまま朽ち果てて壊されていくことに危機を感じました。あまりにもったいない。かけがえの無いものが詰まっています。  
ここで出会う手つかずのままの長屋とよみがえらせた借家。  
時代を超えた豊かさの意味を問いかけます。



■ 借家のしつらえ  
大正初期の借家を改築し 平成の人の暮らしを表現しました

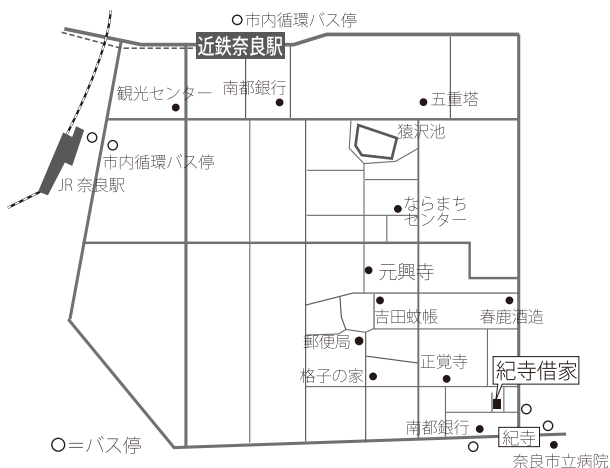
■ 空家の長屋をインスタレーション  
朽ちるにまかせていた空家で  
かつての暮らし これからの暮らし  
それぞれが それぞれに 想いはせる場に

イメージーションが膨らむ散文と共に  
植物や役割が終わっても まだなお  
存在感を放つ廃材などで表現しました

あわせて 大正初期の庶民の住宅の建築的価値  
を考え、伝統構法の良さを活かした改築方法を  
紹介します。

会期：2010年2月11日（木）～14日（日） 13:00～16:00  
場所：「紀寺借家」奈良市紀寺町 779

地域再生企画・室礼 AOTAKE 田中貴子 / 紡ぎ家 原田純子 / 景観調整家 東根康仁 / 染色家・美術 松本健宏 / 建築家 藤岡龍介+藤岡建築研究室



近鉄奈良駅、JR奈良駅からバスが便利です / ②なし  
天理行きバス、市内循環バス「紀寺町」バス停下車徒歩3分

同時開催 申込み必要  
2010年2月11日（木・祝）  
—— シンポジウム ——  
豊かで小さな家 紀寺借家  
会場 佐保会館（奈良女子大学構内）  
13:00-16:00（受付12:30）  
紀寺借家 完成見学会  
10:00-11:30  
申込み 古材文化の会事務局